

① 研究課題名：

CTによる剣状突起下アプローチを用いた胸腺摘出術後の脂肪郭清の評価

② 研究の目的：

みぞおちの辺りにある剣状突起という骨のやや下側から、胸腔内に内視鏡カメラを挿入して（剣状突起下アプローチといいます）、胸腺を摘出する手術には、ビデオ補助下拡大胸腺摘出術と胸腺胸腺腫摘出術があります。拡大胸腺摘出術は胸腺及び胸腺腫以外に周囲の脂肪組織も切除する方法であり、胸腺胸腺腫摘出術は胸腺及び胸腺腫のみを切除する方法です。この研究は、これらの摘出手術を受けられた方の手術前後のCT画像所見を比較することにより、胸腺の周りの脂肪組織がどの程度取り除かれているか（脂肪組織郭清度といいます）を調査することを目的としています。

③ 研究期間：

西暦 2019年 6月 ～ 西暦 2020年 12月 31日

④ 研究責任者及び研究実施施設一覧

研究責任者：原 眞咲

研究実施施設：名古屋市立西部医療センター 放射線診断科

⑤ 研究の対象：

2016年12月1日から2019年1月31日までの期間に、名古屋市立西部医療センターにて剣状突起下アプローチ法によるビデオ補助下拡大胸腺摘出術またはビデオ補助下胸腺胸腺腫摘出術を受けられた方

⑥ 調査項目：

①基本情報：手術時の年齢、性別

②治療情報：術前後の重症筋無力症症状の有無およびその他の自覚症状、術前後の抗アセチルコリン受容体抗体価、術式、病理診断名、横隔神経麻痺の有無

③画像情報：手術前のCT・MRI・PET-CT画像所見及び画像から判断される臨床診断名、術後CT所見、縦隔脂肪郭清度

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。得られた情報は、研究担当医師により、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

学会（The 4th Asian Congress of Thoracic Imaging (ACTI 2019)）で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて症例調査票を作成します。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ 利益相反

非介入試験であり、研究資金は必要とされない。また、本研究の計画・実施・発表に関して可能性のある利益相反は存在しない。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	放射線診断科	原 眞咲 TEL：052-991-8121（代表）